

授業科目 生化学Ⅱ

【担当教員名】 中川洋吉	対象学年	1	対象学科	栄養
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

本講座では「人体の不思議」のシステムを物質レベルで学び、疾病を理解し、治療に当たる基本的知識の修得をめざしている。また、患者と向き合った時、苦しみや心の痛みを分かち合える優しさの習得も大きなポイントとしている。臨床上重要な臓器および疾病の生化学にふれ、ライセンス取得に向けた力強い看護科の講座にしたい。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- 7臓器（肝臓、腎臓、筋、脳・神経系、血液等）の構造と働きを生理・生化学的に説明できる
 8疾患（悪性新生物、感染症、炎症、免疫、生活習慣病等）の症状と治療について、生理・生化学的知見を習得している。
 9臓器の栄養生化学（臓器固有の代謝について理解を深め、代謝の前後における物質の出入りを診断に・治療に活かす）
 10疾患の栄養生化学（疾患固有の代謝物質について理解を深め、代謝後の代謝成分を診断・治療に活かす）

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	ビタミンの補酵素作用と生理機能（水溶性ビタミンとほこうそ）		講義とチャート画像
2	ビタミンの補酵素作用と生理機能（脂溶性ビタミンと生体膜）		講義とチャート画像
3	ホルモンの作用機構と産生臓器（1）体の持続的調整機能		講義とチャート画像
4	ホルモンの作用機構と産生臓器（2）分泌異常と疾患		講義とチャート画像
5	生体における水および無機物の役割（1）内部環境の恒常性		講義とチャート画像
6	生体における水および無機物の役割（2）疾患（浮腫、酸塩基平衡、無機質の生理的役割）		講義とチャート画像
7	臓器の栄養生化学（1）呼吸器系、造血系、消化器系の働きと疾病		講義と動物解剖デジタル画像
8	臓器の栄養生化学（2）循環器系、泌尿器系、内分泌系と酸素・栄養補修		講義と動物解剖デジタル画像
9	臓器の栄養生化学（3）結合組織、運動系、神経系		講義と動物解剖デジタル画像
10	臓器の栄養生化学（4）脳および心臓の血管系と疾病		講義と動物解剖デジタル画像
11	疾患の栄養生化学（1）悪性新生物、腫瘍、免疫系に関与する細胞群		講義とチャート画像
12	疾患の栄養生化学（2）先天性代謝異常、遺伝子治療、再生医療		講義とチャート画像
13	疾患の栄養生化学（3）侵襲と内的環境の維持		講義とチャート画像
14	健康と栄養、疾患と栄養		講義とチャート画像

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	生化学Ⅰに同じ			
参考書	生命科学のための基礎シリーズ 化学	太田博道 岩村道子 他	実教出版	2006/02/28 2,000円＋税
	基礎の生化学	猪飼 篤	東京化学同人	2006/10/02 1,900円＋税
その他の資料	生化学Ⅰに同じ			
【評価方法】		【履修上の留意点】		
生化学Ⅰに同じ		生化学Ⅰに同じ		